

# 平成30年度 事業報告

## 第1 公益目的事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の研究指導機関としての役割を全うするために、広く吟道指導者を育成指導し、不特定多数の者に吟道の普及振興を図ることを目的として、以下の公益目的事業を行った。

### 1 吟道に関する研修会、講習会及び大会の開催

#### 一 研修会・講習会

##### (1) 日本吟道夏季大学講座

詩歌吟詠法と作詩の理論と実技の指導のため、次のとおり日本吟道夏季大学講座を開催した。

平成30年7月26日(木)及び27日(金)の2日間

埼玉県川口市 川口総合文化センター

参加人員 800名

##### (2) 地区吟道講習会

詩歌吟詠に関する研鑽を深め、広く吟道を普及するため、次の地区が主体となって講習会を行った。

###### ① 北海道地区

平成30年 5月27日(日) 北海道 白老町コミュニティセンター

###### ② 北関東地区

平成30年12月2日(日) 群馬県前橋市 東公民館

###### ③ 千葉・茨城地区

平成31年 2月 2日(土) 東京都文京区 日本吟道会館

###### ④ 東京地区

平成31年 2月 9日(土) 東京都江戸川区 小松川区民会館

###### ⑤ 神奈川・山梨地区

平成31年 2月10日(日) 東京都八王子市 八王子労政会館ホール

###### ⑥ 三重地区

平成30年 7月 8日(日) 三重県鈴鹿市 河川防災センター

###### ⑦ 南部九州地区

平成30年 8月 5日(日) 鹿児島市 谷山市民会館

以上7地区の参加人員は、 延・536名

##### (3) 指導者育成推進講習会

吟道を広く普及するため、詩歌吟詠の指導者の育成とその指導力を強化することを目的として、全国各地で研修を行った。

###### ① 北海道地区

平成30年 5月27日(日) 北海道 白老町コミュニティセンター

###### ② 東北地区

平成30年 6月 2日(土) 宮城県仙台市 仙台シルバーセンター

- ③ 北関東地区  
平成30年 9月 2日(日) 群馬県前橋市 総合福祉会館
- ④ 埼玉地区  
平成30年11月23日(金) 東京都文京区 日本吟道会館
- ⑤ 千葉・茨城地区  
平成30年12月 3日(月) 東京都文京区 日本吟道会館
- ⑥ 東京地区  
平成30年11月 3日(土) 東京都江戸川区 小松川区民会館
- ⑦ 神奈川・山梨地区  
平成30年11月11日(日) 神奈川県横浜市社会福祉センター
- ⑧ 北陸地区  
平成30年 9月 2日(日) 富山県射水市 大門総合会館
- ⑨ 中部地区  
平成30年 7月22日(日) 岐阜県 高山市文化会館
- ⑩ 中国地区  
平成30年10月21日(日) 鳥取県米子市 福生西公民館
- ⑪ 西部九州地区  
平成30年10月14日(日) 長崎県諫早市 本野ふれあい会館
- ⑫ 南部九州地区  
平成31年 3月 3日(日) 鹿児島県鹿児島市 谷山市民会館
- 以上12地区の参加人員は、 延・891名

## 二 吟道に関する大会の開催

日頃の吟道精進の成果を披露し、他の人の吟詠を聞いて参考とし、更に広く一般の人々の吟詠に関する関心を高めることにより吟道の普及に資するため、下記の諸大会を開催した。

### (1) 日本吟道全国大会

全国の会員を対象に、第68回日本吟道全国大会を行った。

平成30年5月17日(木) 神奈川県 鎌倉市鎌倉芸術館

参加人員 1,100名

### (2) 日本吟道青少年全国大会・壮心の集い

幼少年及び青年を対象に、第54回日本吟道青少年全国大会を行った。

同時に、各地区の壮心大会で選出された代表者により、壮心の集いを行った。

平成31年3月23日(土) 東京都墨田区 すみだトリフォニー

参加人員 180名

### (3) 日本吟道名吟大会

レベルの高い会員及び会員外の吟詠家を招いて、会員の吟詠力の向上と、一般の人々に対する吟詠の普及を図ることを目的として、第22回日本吟道名吟大会を行った。

平成30年10月 6日(土) 東京都江戸川区 タワーホール船堀

参加人員 700名

#### (4) 日本吟道全国吟詠コンクール決選大会

全国各地域より選抜された会員による、第6回日本吟道全国吟詠コンクール決選大会を行った。

平成30年10月 6日(土) 東京都江戸川区 タワーホール船堀  
参加人員 105名(出吟者)

(3) 及び(4)については、同時開催した。

#### (5) 日本吟道壮心大会

原則として65才以上を対象に、各地区が主体となって日本吟道壮心大会を行った。

### 2 吟道に関する普及活動への支援

吟道の普及活動を行うに当たり、全体的に活性化された活動が行われるよう、人的、財政的支援を行った。

#### 一 公認団体の吟道大会の支援

公認団体の周年行事に際して、本部からの役員の派遣及び大会経費の一部助成等の支援を行った。

#### 二 地域活性化、吟道普及につながる事業の支援

#### 三 各地の敬老会、養護施設、学校その他への慰問・指導

### 3 吟道に関する調査研究及び広報事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の研究・指導機関として、「新世紀の吟詠研究会」を中心とした研究活動を行うとともに、その成果等については広報誌等を通じて公表した。

#### 一 吟道に関する調査研究

##### 詩歌吟詠法及び作詩法に関する研究会

(1) 新世紀の詩歌吟詠法及び作詩法に関し、吟詠研究会を行った。

平成30年 6月24日(日) 東京都文京区 日本吟道会館

平成30年 9月 9日(日) 同上

平成30年12月16日(日) 同上

平成31年 3月17日(日) 同上

(2) その他の調査研究

その他、必要に応じて随時調査研究会を行った。

#### 二 広報事業

不特定多数の人に吟詠を普及するため、吟道に関する各種資料、調査研究の成果等を公表するため、次の広報事業を行った。

(1) 広報誌「日本吟道」の刊行

(2) 詩歌吟詠に関する出版物の刊行

(3) ホームページによる広報活動

(4) その他、マスコミ、公共団体等を活用した広報活動

## 第2 収益事業等

公益目的事業を補完し、これを積極的に推進するため、次の収益事業及び共益事業を行った。

### 1 収益事業

- 一 吟道に関する教本及び教材並びに物品等の販売
- 二 段級位、伝位及び師範位の認定
  - (1) 吟詠の技術の向上に伴い、段級位、伝位の認定を行った。
  - (2) 指導技術の向上に伴い、師範位の認定を行った。

### 2 共益事業

主として本学院の会員を対象とする次の事業を行った。

#### 一 功労者の顕彰及び表彰

- (1) 吟道発展に寄与し、特に功労顕著な者に、冠称を贈り顕彰した。
- (2) 吟道普及に功績のあった公認団体の代表者に対して感謝状を贈り表彰した。
- (3) 吟道普及に功績のあった会員を褒賞した。
- (4) 吟道普及に功績のあった公認団体を表彰した。
- (5) 永年にわたり吟道を研鑽した高齢者を表彰した。
- (6) その他、随時、吟道普及に功績のあった会員を表彰した。

#### 二 正会員・個人賛助会員吟道大会

正会員を対象として、総会開催時に正会員・個人賛助会員吟道大会を開催した。

平成30年6月10日(日) 東京都千代田区 主婦会館  
参加人員 120名

#### 三 新春賀詞交歓会

平成31年1月12日(土) 東京都文京区 日本吟道会館  
参加人員 120名

### 3 その他、目的を達成するために必要な事業

- 一 記録の制作と保存  
本学院の事業等に関する吟詠等を記録及び保存した。
- 二 (公財)日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠コンクールに参加した。  
平成30年11月10日(土) 東京都千代田区 日本武道館
- 三 その他、目的を達成するために必要な事業を行った。

以上